

世界は ひとつ

GIC 国際交流員のサリー(オーストラリア出身)、森下(ブラジル出身)、ゴン(中国出身)が、国際交流イベント「年末国際感謝祭」を、昨年12月16日、岐阜市柳ヶ瀬シネックホールで開催しました。

集まった多くの外国人と日本人とのフリートーク、ブラジルのダンス的格闘技「カポエイラ」等のパフォーマンス、各国についてのクイズなど通じて、国際交流を深めました。



▲年末国際感謝祭の様子(写真提供：岐阜日豪協会 関谷様)

留学生座談会 P2~3

- 岐阜県の外国人留学生による座談会

事業報告 P4~5

- 岐阜県外国人コミュニティ支援 人材育成研修
- 岐阜県外国籍県民生活実態調査報告会
- 災害時語学サポーター研修

龔(ゴン)国際交流員

お別れの挨拶 P5

GICの語学講座の紹介 P6

世界の文化紹介
●オーストラリア

岐阜県内で活躍する

団体・個人を紹介します P7

- 岐阜日中協会

JICA岐阜デスクコーナー

メッセージボード P8

- 各種イベント、講座情報

岐阜県の外国人留学生による 座談会

当センターでは、県内の大学等で学ぶ外国人私費留学生を対象に、奨学金支給事業を行っています。留学生の経済的負担の軽減を図るとともに、国際交流や地域交流活動等への積極的な取り組みをお願いしています。今回、今年度の奨学生5名にお集まりいただき、それぞれが経験した国際交流活動について、また日本の生活で感じたことなどを話していただきました。



— 今日みなさんから日本の生活のことや国際交流についてなど参考になる意見を、いろいろお聞きしたいと思います。まず、それぞれの自己紹介と日本に来てからの感想をお聞かせください。

王 琦 台湾の台北から来ました。日本については、とても近代化されていて東京のようににぎやかなイメージを持っていました。岐阜に来てみると違うので、びっくりしました。ここに来て2年になりますが、人と人との関係が大都市よりも濃く、人間の感情がある町だと思います。

劉 華琳 出身は中国の山東省です。日本に来てもうすぐ4年になります。日本は、あらゆる面で細かいところまで考えられていると思いました。バスは乗客が座ってから発車するし、座席の下には暖房が入っています。外出先のトイレには、赤ちゃんのためにおむつを変えるスペースがあります。最初、とても驚きました。

鄧 鵬 日本に来て3年になります。日本の時間は速いと思います。速すぎると言ってもいいです。夜、「今日何をしたかな」と考えるのですが、いつも速かったという印象です。一年を振り返ると、一日がまるで一瞬で過ぎたように感じます。日本人はみんなが急いでいます。エスカレーターでも走っています。また、中国にいるときは、日本は発展していて、どこへ行っても高いビルばかりで車が走っているというイメージでした。でも、岐阜に来てみて、日本にも田舎があることを知りました。実際に来てみないと真実はわからないものです。

ソーポン タイから来ました。日本に住んで2年になります。今はメディア表現の勉強をしています。昨年、オーストリアに語学留学をしました。そこで日本との違いを感じました。第一は、日本は安全だということです。イタリアで旅行中に教会の写真を撮っていたら、脇のいすに置いたカバンがなくなっていました。3分ぐらいの間に盗まれてしまったのです。次にトイレのことです。日本はどこにでもトイレがあり、無料で使えます。ヨーロッパは100円から200円ぐらい払わなければなりませんし、数も少ないです。

恒見措 中国のチベットから来ています。大学3年の夏休みに初めて日本へ来て東京で1ヶ月間生活しました。そのとき、日本の山には緑が多いので、びっくりしました。故郷のチベット高原は標高が高く、山の上には緑も何もありません。また、大学の教務課の先生方の休憩時間が、学生とずれているので不思議に思い、質問したことがあります。すると、学生が休憩時間に質問に来ることがあるからずらしてある、と言われました。それを聞いて、日本の社会は細かいところまで考えられていると思いました。

— 日本で苦労されていることはありますか。

ソーポン 東京に住んでいたことがあるのですが、当時、中国人や韓国人の学生と比べて、漢字を使わない私たちタイ人には日本語は難しいと感じました。だから、当初はアルバイトがあまりできず、滞りの終わりの方になって、タイ料理のレストランで働くことができました。

恒見措 新潟に住みましたが、冬は雪がすごくて大変でした。10ヶ月間日本語を勉強して、岐阜大学の大学院に入りました。生活のリズムは東京よりも岐阜の方が合っていると思います。東京の人はみんな速くて走っている感じがします。それと、日本人は自分の意見、特にイエスカノーかをはっきり言わないので、私たち外国人には困るときがあります。

— はっきり言わないのは、日本人の欠点の一つでもあります。みんなとできるだけ仲良くしていこう、けんかをしないようにしましょう、という気遣いの意味もあります。

王 琦 日本人が言う「いい」という表現に困ります。

出席者

大学および専攻等は
平成25年2月7日
現在のもの



ワン チ
王 琦さん
(男性・台湾)

朝日大学大学院
経営学研究科
博士前期課程1年



リュウ カリン
劉 華琳さん
(女性・中国)

中部学院大学
経営学科3年



ヤンジェンツォ
恒見措さん
(女性・中国)

岐阜大学
教育学研究科
修士課程1年



トウ ホウ
鄧 鵬さん
(男性・中国)

岐阜聖徳学園大学
外国語学科1年



クンギッジャー ソーボン
KULKIJJA SOPONさん
(男性・タイ)

情報科学芸術大学院大学
メディア表現研究科
修士課程1年

例えば、「お茶どうですか」と勧めたときに「いいよ」と言われて、飲みたいのだと思った後、そうではなかったということがあります。

— その場合の「いいよ」は、「結構です。いりません」という意味だったのですね。確かにわかりにくいですが、みなさんは外国人留学生として、いろいろな国際交流活動に関わってこられたと思いますが、印象に残っていることを教えてください。

鄧 鵬 羽島市の市民会館で行われている「日本語広場」で、地元の方々と一緒に語学の勉強をしています。参加者は主に年輩の方ですが、いろいろな活動があります。中国、日本、ブラジル、フィリピンなどの料理をみんなで作るイベントに参加したこともあります。時間があるときは、愛知県一宮市でも活動しています。そこも年配の方が多いのですが、グループで奈良や京都へも行き、東大寺や春日大社を見してきました。言葉を勉強しながら、年輩の方と若者が交流でき、両者にとって良い形になっています。

ソーボン 私の大学院ではオーストリアから定期的に留学生を受け入れており、一緒に発表会やパーティーを行います。そこで、日本人やオーストリア人と交流をしました。また、日本の友人と一緒にオーストリアの留学生との懇親会に参加したことがあり、その際、英語ができない友人の代わりに日本のことを説明しました。

恒見措 学生20名で郡上市の里山を訪問したことがあります。そこはお年寄りばかりで、若い人はみな都会へ行ってしまったそうです。そこで印象に残ったのは、江戸時代から絶やさずに守られている囲炉裏の火があることです。また、高台から郡上八幡の町を見たときに、全体が魚の形をしていたのも印象に残っています。

王 琦 毎日、卓球の指導をしています。昨年開催された「ぎぶ清流国体」では卓球のトレーナーとして参加しました。大学だけでなく、銀行や中学高校などの練習にも参加しました。体育会系特有かもしれないのですが、大学では上下関係が厳しく、日本の学生から大きな声で「おはようございます!」と挨拶されます。これが最初は恥ずかしくて、顔を隠したりしていました。

劉 華琳 日本学生支援機構主催の交流会に参加しました。高山市で3日間行われ、参加者と自分の国の文化や将来のことについて話し合ったり、カレーを作ったり、歌やダンスをしたりしました。とても楽しかったです。また先日、ボランティアとして大学の近くの高校で、中国人の男子生徒とご両親、先生のために進路や生活についての相談の通訳をしました。

— 最後に、みなさんの今後の予定を聞かせてください。

劉 華琳 進学し、日本の大学で勉強を続けたいです。岐阜県内にこだわらず、他の大学も考えています。

王 琦 卓球のコーチを続けたいです。日本で、特にこの東海地方で仕事を見つけたいと思います。

恒見措 就職活動を考えていますが、博士課程にも進みたいと思っています。現在在学している大学には教育学の博士課程がないので、他の大学への進学を考えています。また、就職できるなら日本で働きたいです。都会ではなく、岐阜のようなところで仕事をしたいです。

ソーボン 卒業したら日本で働きたいです。今、就職活動をしています。大学院の課題提出と就職活動のエントリーシートの提出が重なっていて、今とても忙しいです。情報関係の勉強を活かしたデザイナーの仕事がしたいです。志望動機の書き方などを友人や先生と相談して取り組んでいます。

鄧 鵬 卒業までまだ3年あるのですが、いろいろ考えています。将来は貿易関係のビジネスに携わりたいと思っています。サラリーマンでなく自分で起業したいです。そして5年後には、日本の国に税金をたくさん払えるような立場になりたい、日本人に認められたいと思っています。近々、中国へ出張する日本のビジネスマンに通訳として同行する機会があるので、いろいろ勉強したいと思います。

— 本日は参考になる話をたくさん聞くことができました。これからも体に気をつけて頑張ってください。みなさんのご活躍を期待しています。

<座談会を振り返って>

参加者それぞれの経験に基づいた話を聞くことができ、また、各自がしっかりとした目的や信念を持って日本での生活を送っていることがうかがえ、心強く思いました。



岐阜県外国人コミュニティ支援人材育成研修

つながる4日間～みんなで考えよう外国人住民の抱える問題～

GICでは、普段から在住外国人の相談対応を行っている外国人相談員などを対象に、近年複雑化していく相談に対応できるよう人材育成研修を行い、延べ50人の参加がありました。

全4回行われ、各分野の専門家を招き、専門知識と現状をお話いただきました。また、講義後のワークショップは、ワールドカフェ形式で行われ、講師、参加者交えて、日頃の相談対応で感じる疑問、悩みなど、テーマに沿って話し合われました。

参加者の方からは、「多くの事を学ぶことができ、ここで得た知識を相談業務に役立てたい。」という声をいただきました。

この研修により、多くの参加者と講師がつながり、外国人支援に対し、連携した体制を築くことができると同時に、専門知識を学ぶことで、参加者のスキルアップを図ることができ、有意義な研修となりました。



～ テーマ ～

● 第1回「子ども」(11月16日)

内容：発達障害、ひきこもり、不登校など
講師：引きこもり支援士協議会岐阜支部

代表 白木 由紀子 氏
Career Leaf 代表 平田 幸恵 氏

● 第2回「地域コミュニティ」(12月14日)

内容：健康、コミュニティカフェ
講師：コミュニティサポートセンターわおん

理事長 杉浦 陽之助 氏
(一社)健康支援ディアス 代表理事 永井 杜花 氏

● 第3回「就労・貧困」(1月25日)

内容：食料支援、自立支援
講師：セカンドハーベスト名古屋

事務局長 本岡 俊郎 氏
ささしま共生会 橋本 恵一 氏
岐阜県パーソナルサポートセンター
相談員 原中 セザリオ 義之 氏

● 第4回「女性」[総括](2月22日)

内容：DV、いままでのまとめ

講師：あゆみだした女性の会 代表 廣瀬 尚美 氏

岐阜県外国籍県民生活実態調査報告会

多文化共生分野で活動されている方を対象に、県内在住外国人の生活実態を調査した「岐阜県で暮らす外国籍住民の生活実態調査」事業の報告会を、2月7日にふれあい福寿会館にて開催し、43名の参加がありました。

講師からは、約500件の調査データから見える岐阜県外国籍住民の実態や課題を報告、今後の支援の提案がされ、日頃多文化共生活動に関わっている参加者にとって、どのような支援活動を行うべきか参考にしてもらおう場となりました。

また、岐阜県内の多文化共生活動の事例紹介の中では、外国籍住民に対する日本語指導について説明がなされ、多くの参加者が熱心に耳を傾けていました。講義の後には、講師と参加者で、活発な意見交流が行われました。

この報告会を通して、今後必要とされている支援活動や、地域における日本語教室の活性化につなげる機会を設けることができました。



災害時語学サポーター研修

大規模災害が発生したとき、多くの外国籍住民の方々も被災者となることが想定されます。言葉の違い等による情報不足、文化・習慣の違いや災害経験の少なさといったことから、外国籍住民には特別な対応が必要であり、地域としてどうすべきかが課題となっています。

こうした中、災害が発生した際に外国籍住民に対して的確な情報提供や支援ができるよう、災害知識を有する語学ボランティアを発掘し、その育成を図るためのサポーター研修を(特活)可児市国際交流協会の協力のもと開催しました。

また、外国人を対象に避難所の雰囲気を経験する「災害時の避難所体験」も併せて開催しました。

日にち：2月17日

会場：可児市多文化共生センターフレビア

講師：(特活)多文化共生マネージャー全国協議会

副代表理事 高木 和彦 氏

理事 高橋 伸行 氏

参加者数：32名(中国2名、ブラジル11名、日本19名)

可児市で大地震が起きたことを想定し、災害多言語支援センターを立ち上げ運営する練習をしました。

地図を見ながら避難所の場所を確認し、どのグループがどこの避難所を回るのかを話し合い、また、災害対策本部で出された日本語の情報を、いろいろな国籍の方に情報が行き渡るように多言語化する練習もしました。翻訳した情報を避難所体験参加者に伝え、困ったことはないかと聞き取り調査をするなど、実際に災害が起きたときにサポーターとしてどのように行動するのか体験しました。



●参加者の声

- ・日本人には当たり前の地震が全世界で見ると経験のない人も多数あって、我々が気付かないこと、気が回らないことが多くある。サポートするとき、今回の研修が役に立つと思う。

龔(ゴン)国際交流員から皆様へお別れの挨拶

「光陰矢のごとく」とよく言われますが、確かにそのとおりですね。私は日本に来てもうすぐ一年になりますが、成田空港に到着したばかりの時のことは昨日のことにように感じます。日本は初めてだったので、不安でドキドキしながらもとてもワクワクしていました。小雨で濡れた空気の中、新春の匂いと桜の香りが漂い、とても気持ち良かったです。

日本に来てから、いろいろな人に出会い、たくさんの恵みをもらい、礼儀正しい日本人、おいしい日本料理、綺麗な道、青空、清らかな川などがとても印象深く残っています。出会った人々の笑顔、優しさ、行き届いた心遣いなどが外国人の私の心を温めました。

岐阜に来てばかりの日いろいろなところへ連れていってご馳走してくれたTさん、通勤の道を案内してくれたSさん、常に一緒にお茶を飲むFさん、台風の日にかまで車で送ってくれたF2さん、よく電話で挨拶してくれるYさんなど、優しい人ばかりに出会うことができました。皆さん、本当にありがとうございました。

帰国時間が近づいてきて、懐かしい気持ちも溢れて

います。これから後1ヶ月くらい滞在しますので、また行きたいところへどんどん行き、好きなものをたくさん食べるつもりです。より良い、より豊かな生活を送ろうと思います。

この一年間は、私の人生の中では短い時間ですが、私の人生の中でかなり重要な一環となると思います。ずっと感謝の気持ちを持って、細やかでも中日友好のため力を尽くし、頑張ります。

最後に皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

※龔(ゴン)国際交流員は4月上旬に帰国。



GIC

の語学講座の紹介

GICでは年に1～3月、4～6月、7～9月、10月～12月と4期に渡り、各言語の語学講座を開催しています。

外国語の学習を通して、日本とは違った外国の文化や習慣の違い、魅力を発見できます。また、語学学習は国際理解と自分自身について良く知ることが出来るいい機会ともいえます。あなたも世界各国の言語に挑戦してみませんか。今回は、GICの語学講座を受講している3名の方にお話を伺いました。

参加者：高木 雄二さん

中国語

なぜ中国語を勉強していますか。

当初は語学学習として始めましたが、今は国際交流に役立てられることを目標に勉強しています。

中国語を勉強するコツは？

少しの時間でも、毎日中国語に接することが大切です。その外国語が話されている国へ一人旅することも、勉強の良い刺激になると思います。

中国語講座をどう思いますか。

学習内容はとても良いです。特に「発音へのこだわり」です。毎回楽しく有意義に受講しています。

参加者：若山 直美さん

ポルトガル語

なぜポルトガル語を勉強していますか。

私はカポエイラを習っていて、カポエイラの歌、先生からの指導、ブラジル人とのコミュニケーションのためにポルトガル語が必要だからです。

ポルトガル語を勉強するコツは？

学習したことをカポエイラやブラジルのレストランで実際に使ってみます。

ポルトガル語講座をどう思いますか。

詳しい文法の規則が分かります。カポエイラで覚えたポルトガル語を再確認できます。

参加者：今井 信行さん

英語

なぜ英語を勉強していますか。

外国の方ともっと交流したいから & "I love English!"

英語を勉強するコツは？

TVやメディアなどで分からない単語や「あの言葉は英語で何て言うだろう」と思った時に辞書をいつも引いています。

英語講座をどう思いますか。

毎回知らない知識ばかりを教えてくださいましたので、とても良いです。そして、講師の皆さんがとてもやさしいです。

4～6月期は英語、ポルトガル語、韓国語の講座を開催しています。
語学講座についての詳細はホームページ <http://www.gic.or.jp/> をご確認ください

オーストラリア

● ● 世界の文化紹介 ● ● ANZAC の日

国際交流員サリーから、母国の紹介

4月25日はオーストラリアで、ほとんどの店が休みになります。何万人もの人々が、日の出の前から戦没者記念慰霊碑に、昼間には、町の広場やメインストリートにパレードを見に集まります。道路の交通はストップしたりと、観光で来た人は、ビックリするかも知れませんが、実は、この日はオーストラリアでは大切な祝日なのです。オーストラリア人にとって、平和のありがたさと戦争の恐ろしさを考える、追悼日です。

1914年に第一次世界大戦が発生した当時、オーストラリアは、連邦化されてから13年しか経っていませんでした。翌年、初めての本格的な作戦で、戦地(トルコにある半島「ガリポリ」)に朝の4時半ごろ上陸しましたが、頑強な抵抗にあい、その作戦で8,000人以上のオーストラリア人の軍人が亡くなりました。結局作戦は失敗に終わり、軍は撤退しました。

ANZACは「オーストラリアとニュージーランドの軍団」の頭字語で、このガリポリの戦いで、勇敢に戦った彼らと当時国の為に尽力した人々のために追悼を行います。

当初は、その戦いで亡くなった人々のための日でしたが、現在もっと幅広い意味を持っています。



▲夜明けの礼拝に訪れた多くの人々
(オーストラリア戦没者慰霊碑・首都キャンベラ)

Photo by :Peter Ellis from en.wikipedia.org

岐阜日中協会

●概要

岐阜県在住の中国人の方々に日本の文化や自然などを紹介、鑑賞する交流活動を行い、また、岐阜県の友好提携先である江西省との交流を通じて、日中の友好と親善を深めることを目的とした団体です。

●活動内容

- ・毎月1回定例会を開催。中国の様々な専門家をお招きしての勉強会など。
- ・春節交流会では、中国人をはじめとする在住外国人、一般参加者にも参加いただき、餃子を手作りしながらの交流。
- ・春と秋には野外交流会として、長良河畔などで花見やバーベキューを行い、中国の方々に岐阜県の自然や文化を紹介。

- 設立：1997年7月1日
- 会員：35名
- 代表：古川 竜治
- 事務局：関市巾2-167-1-803
TEL&FAX 0575-25-2572



▲中国江西省の保育園の訪問の様子

- ・中国江西省の訪問団が岐阜に来られた際は、高山や白川郷などの観光地の案内や会員との交流。
- ・訪中団を組み、江西省を中心に訪問と交流。

●岐阜県・江西省友好提携25周年記念事業

今年、両県省友好提携の記念の年にあたり、これまで、記念碑や記念樹などがなかったため、両県省の友好の歴史と将来の友好関係が未永く続くことを記念する石像「輝く芽」を建立し、岐阜県に寄贈する予定です。

岐阜日中協会からのメッセージ

大きな団体ではありませんが、中国好きな人たちが集まり人となりのつながりを大切に、お互いに楽しみながら活動しています。特に江西省との民間交流を長年にわたり続けてきました。今年には友好提携25周年ということもあり、いろいろな活動を計画しています。どなたでも参加できますので、興味のある方はぜひご参加ください。

JICA コーナー

JICA国際協力中学生・高校生 エッセイコンテスト2012

JICAでは毎年同エッセイコンテストを開催しており、全国から作品を募集します。今年は中学生の部44,459点の中から、最優秀賞に当たる「独立行政法人国際協力機構理事長賞」が岐阜市立長森南中学校の柳原未奈さんに送られました。柳原さんの作品「瞳の輝き」は、



アフガニスタンを訪れた際、現地の子との出会いを通じ、彼女が感じたことや今自分ができることについて書かれています。今後も夢に向かった頑張ってください。おめでとうございます！

みなさん、こんにちは。JICA岐阜デスクの各務です。今年の春で岐阜に着任して1年が経ちました。桜の咲くこの季節、気持ち新たに今年度もはりきって参りたいと思います！今回は嬉しいご報告とJICAボランティア春募集のお知らせです！！



世界も自分も変えるシゴト!

JICAボランティアに挑戦しませんか?

募集期間：平成25年4月1日～5月13日

★青年海外協力隊 ★シニア海外ボランティア

全国各地で募集説明会や応募相談会を行います。実際に海外で活躍されたJICAボランティア経験者とお話できます！お気軽にお越しください！！

4月21日(日) 14:00～

会場：中津川駅前 にぎわいプラザ

4月24日(水) 18:30～

会場：ふれあい福寿会館

詳細はHP(<http://www.jica.go.jp>)まで！！

～ JICAボランティアや国際理解教育など、お気軽にお問合せください～
JICA岐阜デスク 岐阜県国際協力推進員 各務 茉莉(かがみ まり)
tel: 058-263-8069 E-mail: jicadpd-desk-gifuken@jica.go.jp

Message board

このコーナーでは、県内の国際活動団体のイベント・講座などをお知らせします。掲載をご希望の方はGICまでご連絡ください。

GICからのお知らせ

語学講座

ポルトガル語講座(中級)

動詞の活用、会話の練習、短文、ブラジルの文化等

- **と き** 4月16日～6月11日
毎週火曜日
18:00～19:30
(休講日 4月30日)
- **ところ** GIC
- **参加費** 全8回分 一般1,200円
賛助会員600円
- **定員** 25名
- **講師** 森下アンダーソン実砂雄
(GIC国際交流員)
- **問合せ先** GIC

韓国語講座(初級)

文字(読み、書き、発音)、簡単な日常会話

- **と き** 4月11日～6月20日
毎週木曜日
(休講日 5月2,9,16日)
17:30～19:00
- **ところ** GIC
- **参加費** 全8回分 一般1,200円
賛助会員600円
- **定員** 25名
- **講師** イ・キョンヒ
(GIC語学ボランティア)
- **問合せ先** GIC

外国人住民のための無料相談

日本で生活していて困ったことはありませんか。

在留資格、国際結婚・離婚など外国人の皆さんの困りごとに行政書士と弁護士が対応します！

行政書士相談

- **と き** 毎月第1水曜日、第3日曜日
13:00～15:00
- **ところ** GIC
- **相談内容** 在留資格、帰化、国際結婚などの各種手続き
- **問合せ先** GIC

弁護士相談

- **と き** 毎月第2水曜日
13:00～15:00
- **ところ** GIC
- **相談内容** 離婚、交通事故、多重債務など法律に関すること
- **問合せ先** GIC

フィリピンフェスティバル 2013

フィリピンの文化を在日フィリピン人の子ども達に伝承するとともに、地域の方々ともフィリピンの文化を通じ交流するイベントです。ふるまいのフィリピンランチあり！

- **と き** 2013年5月3日(金・祭日)
10:00～17:00
- **ところ** 可児市多文化共生センター
フレビア
- **参加費** 無料(屋台は有料)
- **問合せ先** (特活)可児市国際交流協会
TEL: 0574-60-1200
<http://ctk.ne.jp/~frevia>

外国人のための日本語講座

日本語の基礎を身につけるための日本語講座を開催中です。学期の途中からでもご参加いただけます。少人数のクラスで楽しく学びましょう！

- **と き** 初級Ⅰ: 4月10日～8月7日の
月・水曜日(全31回)
初級Ⅱ: 4月11日～7月11日の
火・木曜日(全25回)
- **ところ** 岐阜市文化センター3階
第1会議室
- **対象** 日本語の基礎を学びたい外国人住民の皆さん
- **定員** 各クラス20名
- **参加費** 13,000円
(途中参加の方は割引あり)
- **問合せ先**
公益財団法人岐阜市国際交流協会
TEL: 058-263-1741
<http://homepage3.nifty.com/gifucity-iaa/index.htm>

セントレアキッズクラブ新規会員募集

4月5日から岐阜・愛知・三重県在住の小学1年生から6年生を対象に新規会員を300名募集します。

セントレアならではの会員特典があり、入会金・会費は無料です。

- **問合せ先** 中部国際空港(株)
セントレアキッズクラブ事務局
TEL 0569-38-7777
http://www.centrair.jp/interest/kids_club/

賛助会員へのご協力をお願いします

GICは、多文化共生・国際交流・国際協力の推進のため、各種事業を行っています。GICの趣旨に賛同し、会費という形でGICの活動を支援くださる「賛助会員」を募集しています。

- **会費** 個人会員…3,000円/□ 団体会員…5,000円/□
※年度途中での入会の場合、初年度のみ、会費は月割りとなります。
- **特典** 国際交流・国際協力事業の参加案内
GIC主催の有料イベント(語学講座、料理教室等)の優先参加や参加費割引
GIC発行国際交流情報誌「世界はひとつ」の送付
賛助会員協賛企業、店舗での各種割引 など
- **所得控除** GICへの賛助会費は、税制上の優遇措置があります。
- **入会方法** GICへご連絡ください。

広告主を募集しています!

GICのホームページ

(日本語、英語、ポルトガル語、中国語、タガログ語)、

国際交流情報誌「世界はひとつ」

(日本語、英語、ポルトガル語、中国語)

に掲載する広告を募集しています。

詳しくはGICまで
お問い合わせください。

発行

公益財団法人岐阜県国際交流センター(略称GIC)

〒500-8875 岐阜市柳ヶ瀬通1-12 岐阜中日ビル2階

電話 058-214-7700 FAX 058-263-8067 トリオフォン 058-263-8066

E-mail gic@gic.or.jp URL <http://www.gic.or.jp>

開館案内 開館 日～金曜日 9:30～18:00 休館 土曜日、祝日、年末年始

